

令和元年度 社会福祉法人池田芽ばえ福祉会事業報告書

1. 東山作業所（生活介護・日中一時）事業報告

➤ 基本方針

法人基本理念である「障がいのある人を一人の人間として尊厳を重んじる」「本人の意向を大切にし、その人らしい生き方ができるように支援する」「地域で充実した暮らしができるように支援する」「地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努める」を基本方針としています。

個々のニーズを大切にしながら自己選択、意思決定ができるような機会をもてるようにきめ細かな支援を行いました。

➤ 事業内容

日中生活を安心して過ごせるように生産活動を中心に日常生活上の支援及び余暇、創作活動、レクリエーション活動等を提供しました。

➤ 利用状況の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数(日)	19	19	20	22	17	19	21	21	20	19	18	20
延利用者数(人)	962	966	1017	1129	874	959	1077	1032	1022	935	905	998
1日平均利用者数(人)	50.6	50.8	50.9	51.3	51.4	50.5	51.3	49.1	51.1	49.2	50.3	49.9
月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員)	95.5	95.8	96.0	96.8	97.0	95.3	96.8	92.6	96.4	92.8	94.9	94.2

※少数点第2位四捨五入 平均年齢 44.4歳（令和2年3月31日現在）

➤ 利用者支援の実績

本人、家族の要望を聞き取り、日中活動での状況を観察しながらニーズの掘り起こしを行い、サービス担当者会議にて個別支援計画書を作成しきめ細かな支援をすることを心がけました。出来る限り社会参加や地域交流、色々な体験の選択肢や機会を設け、利用者の自己決定、意思を取り入れるよう努めました。年々、利用者の高齢化に伴う機能面の低下を常に意識した支援が必要になっています。

体調の変化、機能維持など健康に配慮した活動として班活動でのウォーキングやストレッチ、個別活動での運動器具利用により軽運動の機会を設けました。

利用者が安心して日中活動が送れるように支援に努めました。また、生活の中での機能低下を防ぐため支援過剰にならないように見極め、自立心を損なうことがないように心がけました。

《生産活動支援》

作業種：タオル加工、箱折、印刷加工、100円ショップ商品加工、コーヒー加工と販売、食品セット、電源加工、ゴム作業、資材搬出入の運搬

報告、相談、連絡を意識しての自発的活動の支援に努めました。

利用者個々の能力を生かせる加工工程に取り組める支援に努めました。

視覚支援や自助具の開発で障がい特性に合わせた生産活動支援に努めました。

企業のニーズに応じていくことを利用者、支援員ともに共通認識し、信頼される生産活動となるよう努めました。

仕事としての意識を持つことで社会の一員としての喜びや達成感を味わえるよう支援に努めました。

- ・自主製作品

さをり織り、手漉き紙、手作り品、を商品化し販売促進に努めています。

さをり織りについては池田市より記念品として取り扱っていただき収入源となっています。

EMぼかしの生産

- ・仕入品

そうめん、芋けんぴを仕入れ販売することにより収益となっています。

- ・リサイクル活動

ペットボトルキャップの回収、仕分け

インクカートリッジの回収、仕分け

《施設外販売活動》

- ・とよのピア販売員担当

月2回の販売担当は継続できました。

個々の適性により役割を分担し、業務習得（電話の応対、接客、店内清掃など）の支援を行いました。

単独で昼食を摂りに行くなどの自立支援も行いました。

《生活支援》

社会生活支援：納品、リサイクル活動回収、通信配達、買い物、スポーツ、見学、文化活動などを実施しました。

活動メニュー：音楽活動、ビデオ鑑賞、リラックス系、製作活動、園芸、生活、運動、ゲーム、パソコンや音楽鑑賞、ウォーキング、絵本、紙芝居など。

塗り絵はより細かな色使いになってきています。作業所まつりに向けての大作もいい目的になり壁面を飾ることができました。池田市障がい者作品展にて投票第2位、議長賞を受賞し、自信と達成感につながりました。

- ・洗濯、清掃活動

生活支援として洗濯作業、干し、取り入れ、たたみと一連の活動に努めました。

その他清掃活動として地域清掃や施設内の清掃など自立支援を行いました。

- ・リハビリ体操

ストレッチ体操においては、理学療法士の助言のもと随時、取り組みました。

また、食事前は、嚥下体操を行い誤嚥防止に努めています。

・健康管理

高齢に伴う生活習慣病予防、肥満傾向の改善が課題です。日中での体調に留意しました。情緒面も含めた体調の変化に気づき家庭やグループホーム、嘱託医、看護師と連携して異常を早期に見つけていくことが必須です。

看護師、理学療法士へ日々の体調、体の痛みなどの相談がしやすくなり家族へも専門家としての所見を報告し医療へつなげることができました。

・利用者活動

月1回の利用者会議では、意見の表明や理解の難しい利用者に対する選択、決定への支援を行いました。その月の予定や変更事項など連絡する機会とし見通しをもって活動できるように支援しました。

・個別支援計画

個別支援計画の作成に基づいた支援の実施について支援計画が形骸化しないように毎月1回のミーティングで確認しながら実践しました。

年2回モニタリング評価として本人の満足度を聞き取りや状況の確認を行いました。それに基づき原案を作成しサービス担当者会議で検討、修正をしました。面談にて説明、同意を頂き交付を行いました。

長期欠席者には必要に応じて連絡をとり、家庭訪問、面談、個別送迎を実施しました。

・支援員間連携

受託作業種が多種多様にわたるため、職員間の連携のもと、利用者の適性に応じた分担の配置を行っています。

納期や検品、仕上げの手順、チェックポイントを共有しました。作業仕様書の整備と明確な伝達が継続課題です。

支援については班ミーティングで個別報告をしながら担当支援員のみではなく担当外でも共通の認識として支援できるようにしました。

・他機関との連携

気分の不安定さや行動面の執着心などある際には家庭への連絡、心療内科受診時の報告を行ったり、通院同行し助言を仰ぎながら支援をすすめています。

➤ 東山作業所20周年記念式典、懇親会

8月24日（土）、池田市民文化会館小ホールにて記念式典、コンベンションルームにて懇親会を行いました。利用者主体を念頭に司会進行、表彰状、記念品授与、当事者の思い発表、歌など役割をもって実施することができました。

大勢の方々にお越しいただき、またお祝いの言葉もいただき多くの方々のご支援を賜っていることを実感できました。

➤ 苦情解決・サービス向上・虐待防止について

委員会を設け定期的に問題提起、改善に努めました。

要望等については数件ありましたが、迅速に対応、回答することに努めました。他害による利用者支援対策が急務となっています。(受傷による外科受診も増えました。)

ヒヤリハットについては単純な当所側のミスというケースもあり、回覧だけではなく、虐待防止委員会等でも確認、情報・認識の共有、徹底を図りました。

第三者委員より助言をいただきました。

➤ 防災について

火災、地震など自然災害に対し、年2回の避難訓練を行いました。

様々なシーンを想定し咄嗟の判断で利用者対応できるように備えました。

➤ 職員研修について

＊所内研修（4回）

虐待防止・サービス向上研修 感染症研修 水害時避難（ハザードマップ）研修
精神疾患の方の事例について（事業所見学、講義）

＊所外研修（22回）

強度行動障害支援者養成、新任研修、感染症、人権研修、発達障がい研修、リスクマネジメント
相談支援従事者初任者研修、虐待防止権利擁護、施設見学、サービス管理責任者研修 他

➤ 車両安全運行計画

送迎サービスを安全、安心に利用して頂くため、職員に安全運転意識を向上させること。また、非常時に迅速な対応がとれるようにマニュアル整備などを行いました。

整備管理者を選任し必要な点検整備の把握に努めています。

2. 東山作業所運営状況報告（別紙1参照）

3. 経 過

令和元年 5月17日 監事会開催

平成30年度事業報告・各会計決算報告

6月 6日 第1回理事会開催

平成30年度事業報告、各会計決算及び監査報告、次期役員候補者の提案、定款の一部改正、定時評議員会の招集

6月24日 定時評議員会開催

平成30年度事業報告、各会計決算及び監査報告、次期役員の選任、定款の一部改正

6月27日 第2回理事会開催

理事長の選任

8月24日 東山作業所20周年記念式典

令和2年 3月18日 第3回理事会開催

常勤職員就業規則の一部改正、非常勤職員就業規則の一部改正、パートタイム就業規則の一部改正、常勤職員給与規則の一部改正、育児・介護休業等に関する規則の一部改正、令和元年度第1回補正予算、令